

○イナビル吸入粉末剤・▼イナビル吸入懸濁用 160mg セット [外]

【重要度】★ 【一般製剤名】 ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 Laninamivir Octanoate Hydrate 【分類】 抗インフルエンザウイルス製剤 [ノイラミニダーゼ阻害剤]

【単位】 ○1 容器にラニナミビルオクタン酸エステルとして 20mg, ▼吸入懸濁用 160mg セット

【常用量】 ■成人：40mg [2 容器] を単回吸入

■小児：10 歳以上では 40mg, 10 歳未満では 20mg を単回吸入

■予防：それぞれの用量を 1 日間もしくは 2 日間で吸入 (10 歳未満は単回)

▼吸入懸濁用：160mg を生食 2mL で懸濁しネブライザを用いて単回吸入投与する (一般には処置料+薬剤料の算定)

【用法】 吸入 [成人・10 歳以上では 2 容器吸入] ショックを防ぐため座位で吸入 ■予防を 2 日間で使用する場合はおおよそ 24hr あける

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし [慎重投与] (1)

【その他の報告】 活性体の AUC が腎機能正常者の 5 倍程度に上昇するものの、減量の必要はないと思われる (5) ただし、血中濃度依存的な副作用発現に注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし [慎重投与] (1)

【特徴】 ラニナミビルのプロドラッグ。ノイラミニダーゼを選択的に阻害し、単回使用で効果が持続する。

【主な副作用・毒性】 ショック・アナフィラキシー、気管支攣縮、呼吸困難、SJS・TEN、蕁麻疹、消化器症状、めまいなど。

【安全性に関する情報】 因果関係不明もインフルエンザ治療における異常行動 (1)

【F】 経口投与時 3.5% [ラット] (1)

【tmax】 4hr (1) 高度腎障害患者で 12hr と腎不全患者では tmax が遅れる (1)

【代謝】 吸入後、気管及び肺において加水分解により活性代謝物ラニナミビルに変換 (1) CYP の誘導や阻害作用を示さない (1)

【排泄】 活性代謝物ラニナミビルとしての尿中排泄率 23% [吸入, 144hr まで] (1)

【CL】 腎クリアランスは GFR に等しい (1)

【t1/2】 約 3 日 (1) 肺中半減期約 1 日 (1) 腎障害時にも t1/2 の延長はほとんどないが、Cmax, AUC が増大する (1)

【蛋白結合率】 オクタン酸エステル水和物 67~70%, ラニナミビル 0.4%以下 (1)

【Vd/F】 オクタン酸エステル体 160L/kg (1)

【MW】 490.55

【透析性】 資料なし (1)

【O/W 係数】 LogP=0.0 [1-オクタノール水系, pH7.0] (1) 【薬物動態】 体内動態は腎機能によって変化する (1)

【備考】 妊婦：有益性投与。授乳婦：授乳を避ける (1) 吸入後のうがいはいらない (1) 吸入流速 90L/min 必要。

【更新日】 20230123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。